

調布市おたふくかぜ法定外予防接種のお知らせ

調布市おたふくかぜ法定外予防接種を次のとおり実施します。

この予防接種は任意予防接種です。保護者の希望により接種を受けるかどうかを決めることができます。

- 1 **対象者** 1歳～2歳未満
- 2 **接種費用** 自己負担金額 **3,000円**(※接種費用 6,600円のうち市が 3,600円を助成)
※生活保護受給者・中国残留邦人等支援給付受給世帯は無料
(生活福祉課で発行する受給証明書を医療機関に提出してください。)
- 3 **接種回数** 1回
- 4 **接種場所** 協力医療機関(別紙参照)
- 5 **申込方法** 接種を希望される方は、指定医療機関に予約して、接種を受けてください。
- 6 **持ち物** 予診票、母子健康手帳、マイナ保険証又は資格確認書、生活保護等受給証明書(該当者のみ)

おたふくかぜとは

おたふくかぜは、別名を流行性耳下腺炎またはムンプスといい、ムンプスウイルスの飛沫感染後、増殖したウイルスは全身に広がり、各臓器に病変を起こします。潜伏期間は2～3週間です。周りの人に感染させる可能性のある期間は、発病数日前から耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫れが始まった後5日を経過するまでと考えられています。主要症状は、耳下腺の腫れで、境界不鮮明で均一なやわらかい痛みを伴った腫れを示します。顎下腺、舌下腺が腫れることもあり、発熱を伴うこともあります。年長児や成人が罹患すると、症状が著明で合併症の頻度が高くなり

ます。

おたふくかぜと合併症

合併症で最も多いのは無菌性髄膜炎で、診断される頻度は1～10%です。他に頻度は少ないですが、他に脳炎、膵炎などがあります。特に難治性である難聴合併への注意が必要です。

おたふくかぜワクチンと副反応

ムンプスウイルスを弱毒化した生ワクチンです。おたふくかぜワクチンによる抗体陽転率は約90%です。

副反応として、耳下腺の軽度のはれ(1%)、無菌性髄膜炎(0.04～0.06%)、が報告されています。

任意予防接種による健康被害救済制度について

この予防接種による健康被害が生じた場合は、市が加入する全国市長会予防接種事故賠償補償保険及び独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく救済(医薬品副作用被害者救済制度)を受けることとなります。